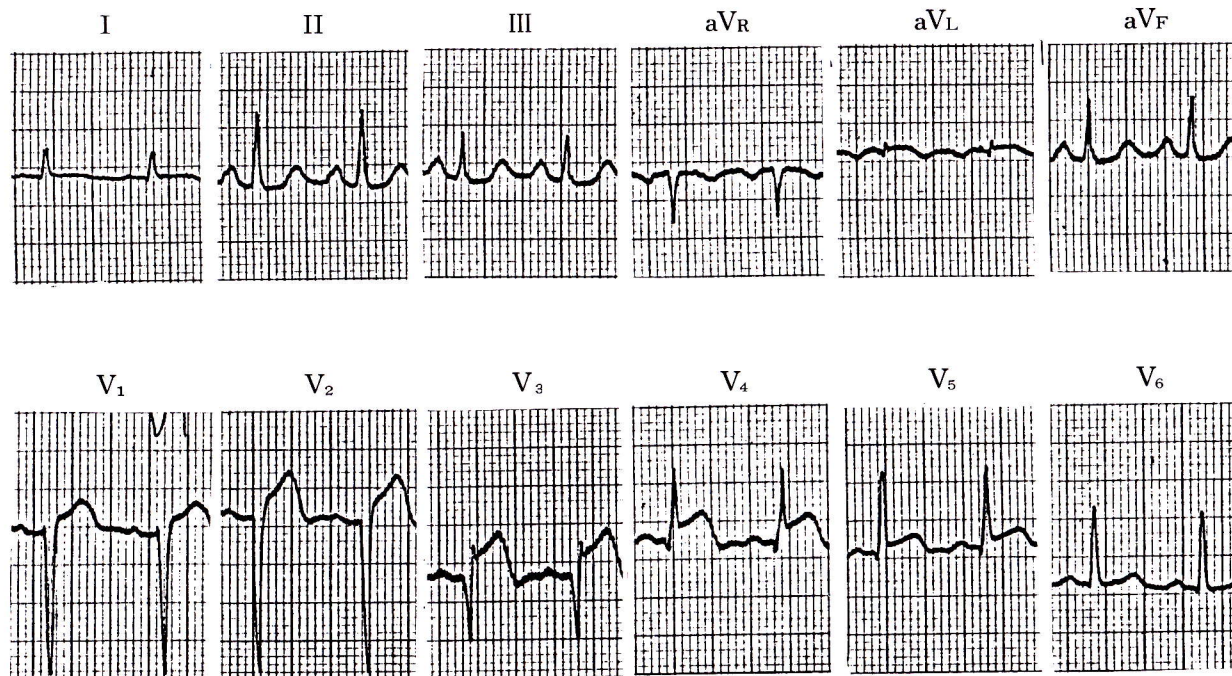


# 症例 36

●68歳 男

- 入院前日の午後に軽い胸痛があったが放置，夜になって絞扼感を伴う胸部激痛が起こり，翌朝まで持続したため緊急入院した．これは，入院時の心電図である．



- 1) この心電図をどう考えるか．

## 前壁梗塞（急性期）

V<sub>1</sub>では小さく幅の狭いrを残したrSパターン、V<sub>2</sub>でQSパターン、V<sub>3</sub>でQrパターン、V<sub>4,5</sub>でqRパターンを呈し、それらの誘導でST上昇（下に凸）

がみられる。さらにV<sub>3</sub>においてはT波の終末部陰性化（terminal inversion）をみる。これらの所見は急性前壁梗塞の特徴である。

## MEMO

### 〈心筋梗塞急性期の心電図変化〉

心筋梗塞急性期の心電図は一刻一刻変化していくものである。Q波の完成（異常Q波の成長，r波の減高），ST偏位（梗塞部誘導でのST上昇，非梗塞部誘導での対側性ST下降），T波終末部陰転などが急性期に認

められる心電図変化である。とくに発病後24時間までのST偏位は固定せず，治療手段の良否，心臓の負荷状態などによって影響をうけやすいといわれている。